

中田榮一先生と歴史地理学会

中 島 義 一



昨年9月10日、本会名誉会員中田榮一先生が逝去されました。91歳でした。

先生は学会創設当初から多年、立教大学中田研究室に事務局を引き受けられ、庶務と会計の多忙な会務を処理

され、会員通信の編集も担当されました。先生の御功績については50周年記念誌に菊地利夫、山寄謹哉、立石友男の諸先生、それに私も筆を揃えて賞揚している通りです。

先生は富山市の御出身、旧制富山高校を経て京都大学で地理学を専攻して卒業されました。当時富山高校に石井逸太郎先生が居られました。旧制高校に人文地理という科目はあったのですが、多くの高校では地質か歴史の教授の兼担で石井先生は全国でも数少ない地理学専攻の高等学校教授だったのです（大正12年東大地理学科卒）。石井先生に御指導頂いてよかったと何度か中田先生から伺いました。記念誌に木下良先生が富山県は古くから地理学研究がさかんで多くのすぐれた地理学者を生んだと述べられています。戦前の富山県の地理学界では石井先生と小寺廉吉先生（当時高岡高商教授）の指導が大きかったです。数多い富山県出身の地理学者の中で特に本学会に大きな足跡を残されたのは浅香幸雄先生（初代会長、当時東京教育大学教授）、籠瀬良明先生（当時日本大学教授）と中田先生でした。浅香先生については山村順次氏、籠瀬先生については立石友男氏が記念誌に色々述べられています。

中田先生は永年立教大学の教授をつとめられ、特に地理学の講座の創設育成に努力されました。定年退職後は帝京大学の教授になられ、また日本大学等いくつかの大学の非常勤講師を引き受けられて、多くの学生を育てられました。

先生は本学会だけでなく日本地理学会や日本地理教育学会にも積極的に参加されていました。その点、自分は東西の地理学界の橋渡しをするのだと言っておられました。新幹線開業前には東京大阪間は特急でも8時間掛り、今のように気楽に遠方の学会に出席できる状況ではなく、とかく東西の地理学者が疎遠になりがちでした。京都大学を出て東京の大学に勤める自分が橋渡しにつとめるべきだとのお考えでした。

学際的という言葉はまだ使われていませんでしたが、異なる学問の研究者間の交流を深め、広い視野から研究を進めるべきだとの考え方から九学会連合というのが作られ、日本地理学会もその一員になりました。中田先生はこの方面に熱心な地理学者の一人であり、特に「利根川」が共同課題になった際は調査団の一員として研究に当られました。その成果は九学会の会誌・報告書のほか歴史地理学会の紀要10号（1968）に「利根川流域の集落についての諸問題」と題して発表されています。

本会の72回例会（1974）に藤井正雄氏の「フィールドワークの場における宗教学と地理学」という発表があり、81回例会（1976）に飯豊毅一氏の「言語研究と地理的諸条件」という発表がありました。藤井氏は宗教学者、飯豊氏は言語学者で、九学会を通じて中

田先生と親しい方々でした。宗教学・言語学と歴史地理学との交流を深めたいとの中田先生の御希望で実現したことでした。その頃本会の会誌では発表者による要旨のほか、座長の所見をのせていました。飯豊氏の分の所見は中田先生が書かれ、藤井氏の分の所見は私が書きました。藤井氏は当時大正大学教授であり、大正大学に勤務した私は旧知の間柄だったからです。

几帳面な中田先生は庶務の方も会計もきちんと厳正に処理されていました。けむたがった人もいたかもしれません。常任委員会は例会の後開かれるのが普通で、例会が巡検の場合も例外ではありません。49回例会（1969）は会場が日立市で、会の後長久保光明氏の案内で長久保赤水の生家等を見学し、高萩駅より帰京の途につきました。その車内で常任委員会です。こまごまと説明される中田先生、そうですかそうですかと聞かれる浅香先生が印象的でした。同席者は山口恵一郎氏と私。

全国的な大学紛争で大学で例会を開けずに困った頃がありました。区や市の施設で使用

料の安い所を使ってはと言ったのですが、承知されません。「会場使用料というのは予算にない。1円たりとも支出できない。何が何でも無料の所を探せ」とのことです。高校在職の会員の御好意で高校を使わせてもらって切り抜けましたが、忘れ得ぬ思い出です。

晩年の中田先生にはお会いする機会もありませんでしたが、拙稿の別刷をお送りするときちゃんと読まれた上で丁重なお礼状を下さいました。昨年3月にもお送りしたのですが今回のお礼状は奥様からで病状が進み読める状態ではないとの悲しいお便りでした。

思えば長い間お世話になりました。私が常任委員になったのが1960年ですから、その頃からでしょうから50年近い年月が経過しています。一番思い出が多いのは何十回となく伺った立教大学の中田研究室です。母校でなく非常勤講師もやっていませんが、立教大学はなつかしい学校の一つです。

改めて多年の御指導に御礼申し上げ、御冥福をお祈りします。